

2011年度3Q決算の概要

2012年2月2日
住友金属工業株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

本資料には、新日本製鐵株式会社および住友金属工業株式会社間の経営統合の成否およびその結果にかかる「将来予想に関する記述」に該当する情報が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、かかる将来予想に関する記述に該当します。これら将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた両社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しています。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する記述に明示的または黙示的に示される両社または両社のうちいずれか一社（または統合後のグループ）の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。両社は、本資料の日付後において、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。投資家の皆様におかれましては、今後の日本国内における公表および米国証券取引委員会への届出において両社（または統合後のグループ）の行う開示をご参照ください。

なお、上記のリスク、不確実性およびその他の要因の例としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本国内外の経済情勢。
- (2) 鋼材需給、原材料価格、為替相場の変動。
- (3) 借入金、社債等の金利の変動、その他金融市場の変動。
- (4) 有価証券等の保有資産（年金資産を含む）価値の変動。
- (5) 事業活動にかかる法令その他規制（環境規制を含む）の変更。
- (6) 海外の主要市場における関税引き上げ、輸入規制等。
- (7) 災害、事故等に起因する事業活動の停止、制約等。
- (8) 経営統合の詳細について当事者すべてが満足する合意に至ることができないことその他本件取引が実施できないこと。
- (9) 統合後のグループにおいてシナジーや統合効果の実現に困難が伴うこと。

本資料中、「粗鋼生産量」「鋼材販売量」「鋼材平均価格」と記載しているものは、(株)住友金属小倉、(株)住友金属直江津、(株)住金鋼鉄和歌山を含んだ数値となっております。なお、当社と(株)住友金属小倉、(株)住友金属直江津は平成24年1月1日に合併しており、本資料中で「棒鋼・線材カンパニー」「ステンレス・チタン事業本部他」と標記した平成24年3月期第3四半期までの数値は、それぞれ合併前の「(株)住友金属小倉」、「(株)住友金属直江津他」の数値となっております。

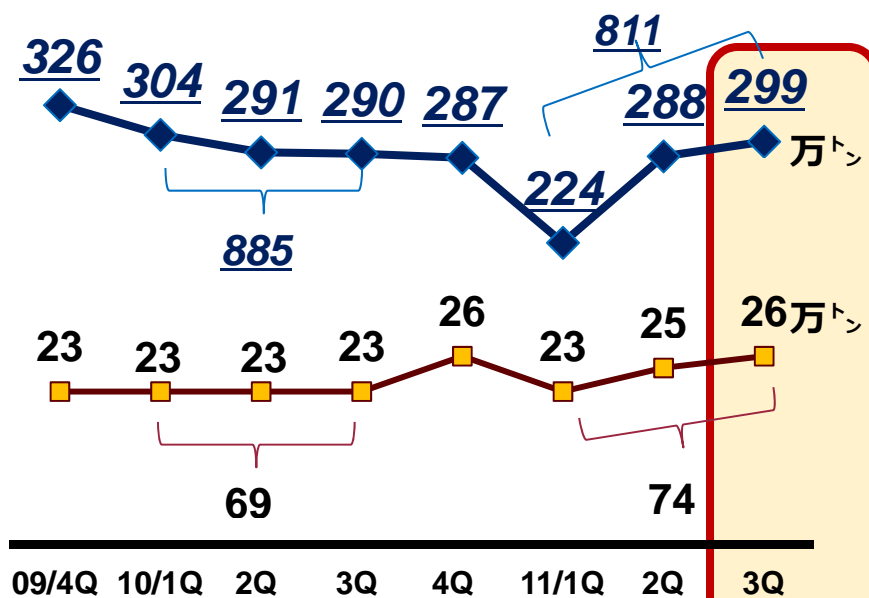
本資料中のEBITDAは、営業利益+減価償却費（有形）で算定しております。

11年度3Q決算ハイライト

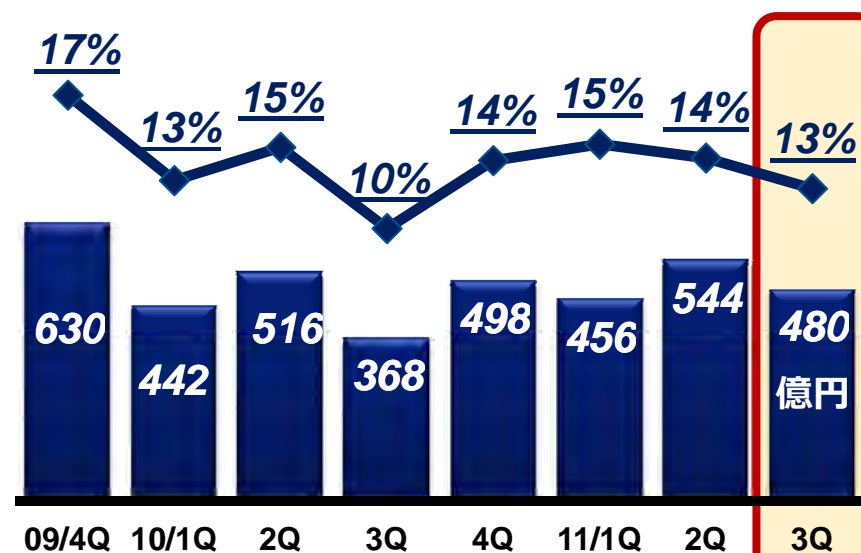
	3Q累計	(前年同期比)
● 売上高	10,758億円	(301億円)
● 営業利益	577億円	(179億円)
● 経常利益	565億円	(296億円)
● 当期利益	△ 376億円	(△725億円)
● EBITDA	1,480億円	(153億円)

- 鋼材販売量は震災から回復を続けているが世界景気減速、タイ洪水影響等により、ペースダウン。シームレスパイプは好調持続
- 内外汎用品市況の低迷による減産およびキャリーオーバー等により3Q営業利益は2Q比減益の164億円

全社販売量と シームレスパイプ販売量の推移



四半期別EBITDAと EBITDAマージン推移



11年度通期業績見通し

- 市況低迷を受け、薄板主体に下期で前回見通し対比△25万トンの減産を実施
- 営業利益予想は、減産影響に加え、原材料価格下落によるキャリーオーバー影響等により、△200億円下方修正の700億円
- 経常利益予想は、上記に加え、持分法適用会社である(株)SUMCOの損益後退により△450億円下方修正の550億円
- 期末配当予想を2.5円/株→1.0円/株に修正

億円	10年度	10/31			11年度 見通し	年度増減
		上期	下期見通し	[見通し]		
売上高	14,024	6,922	7,900	[15,200]	14,800	780
営業利益	563	412	300	[900]	700	140
経常利益	340	413	140	[1,000]	550	210
特別損失	△620	△940	△200	[△940]	△1,140	△520
当期利益	△71	△323	△230	[0]	△550	△480
EPS(円)	△1.54	△6.99	△4.96	[0]	△11.87	△10.33
配当(円/株)	(通期) 3.5	(中間) 1.0	(期末) 1.0	[3.5]	(通期) 2.0	△1.5
EBITDA	1,825	1,000	950	[2,150]	1,950	125
販売量(万トン)	1,172	512	626	[1,163]	1,138	△34

※見通しは全て概数

11年度3Q決算実績

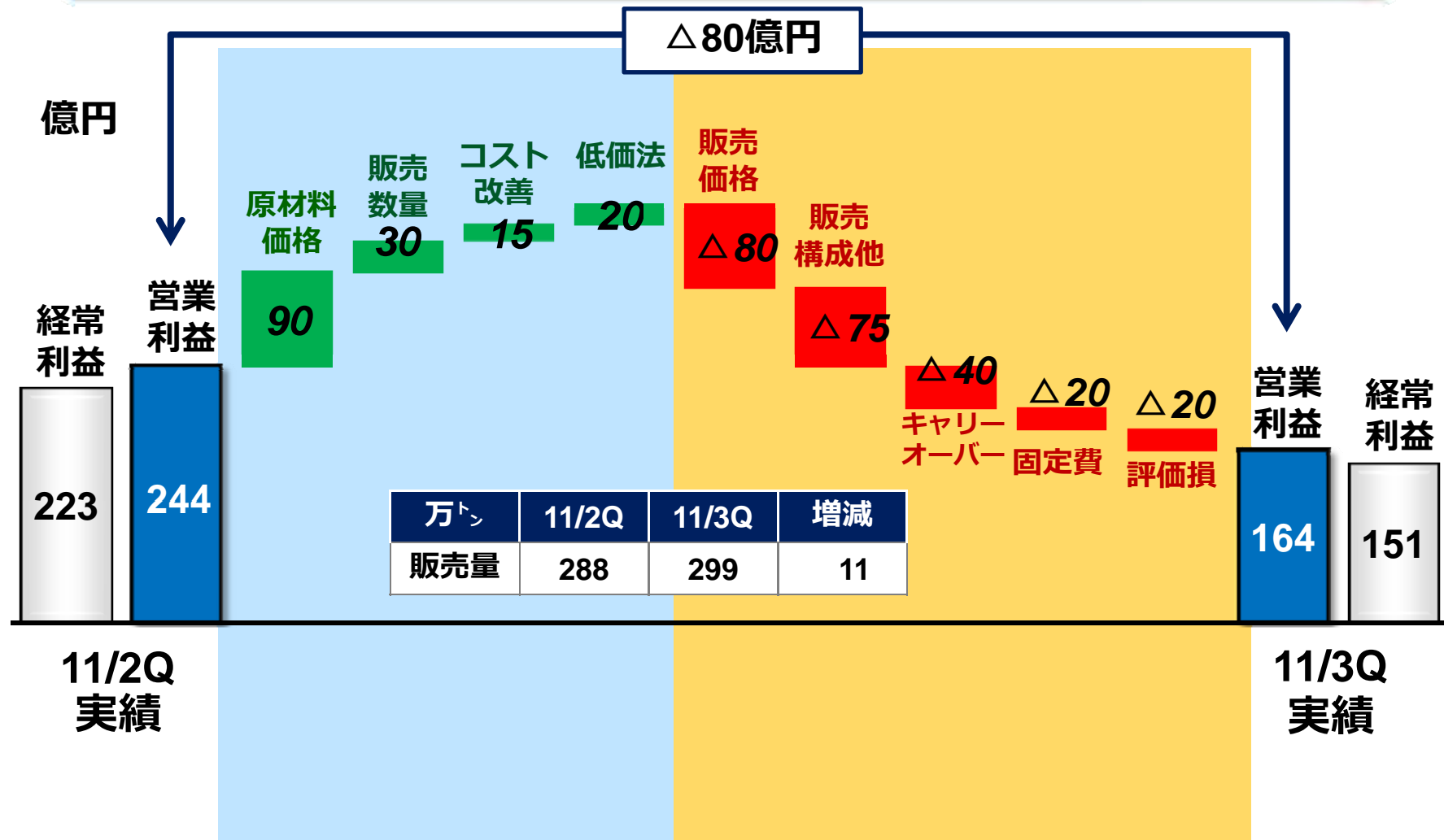
11年度3Q決算概要

億円								増減	
	3Q	10/ 1-3Q	1Q	2Q	3Q	11/ 1-3Q	11/3Q 前Q比	11/1-3Q 前年同期比	
売上高	3,519	10,457	3,068	3,853	3,836	10,758	△16	301	
営業利益	49	397	168	244	164	577	△80	179	
経常利益	△20	268	190	223	151	565	△71	296	
特別損益	-	-	△143	△797	△88	△1,029	708	△1,029	
法人税等 少数株主損益	21	80	△14	218	△115	87	△334	6	
当期純利益	0	349	32	△356	△52	△376	303	△725	
EPS(円)	0.01	7.53	0.70	△7.69	△1.14	△8.12	6.55	△15.65	
EBITDA	368	1,327	456	544	480	1,480	△64	153	
為替レート(円/\$)	83	87	82	78	77	79	1円高	8円高	

*法人税率変更の影響 3Q:法人税等調整額△50億円（繰延税金資産取崩）

営業利益増減 (11/2Q→11/3Q)

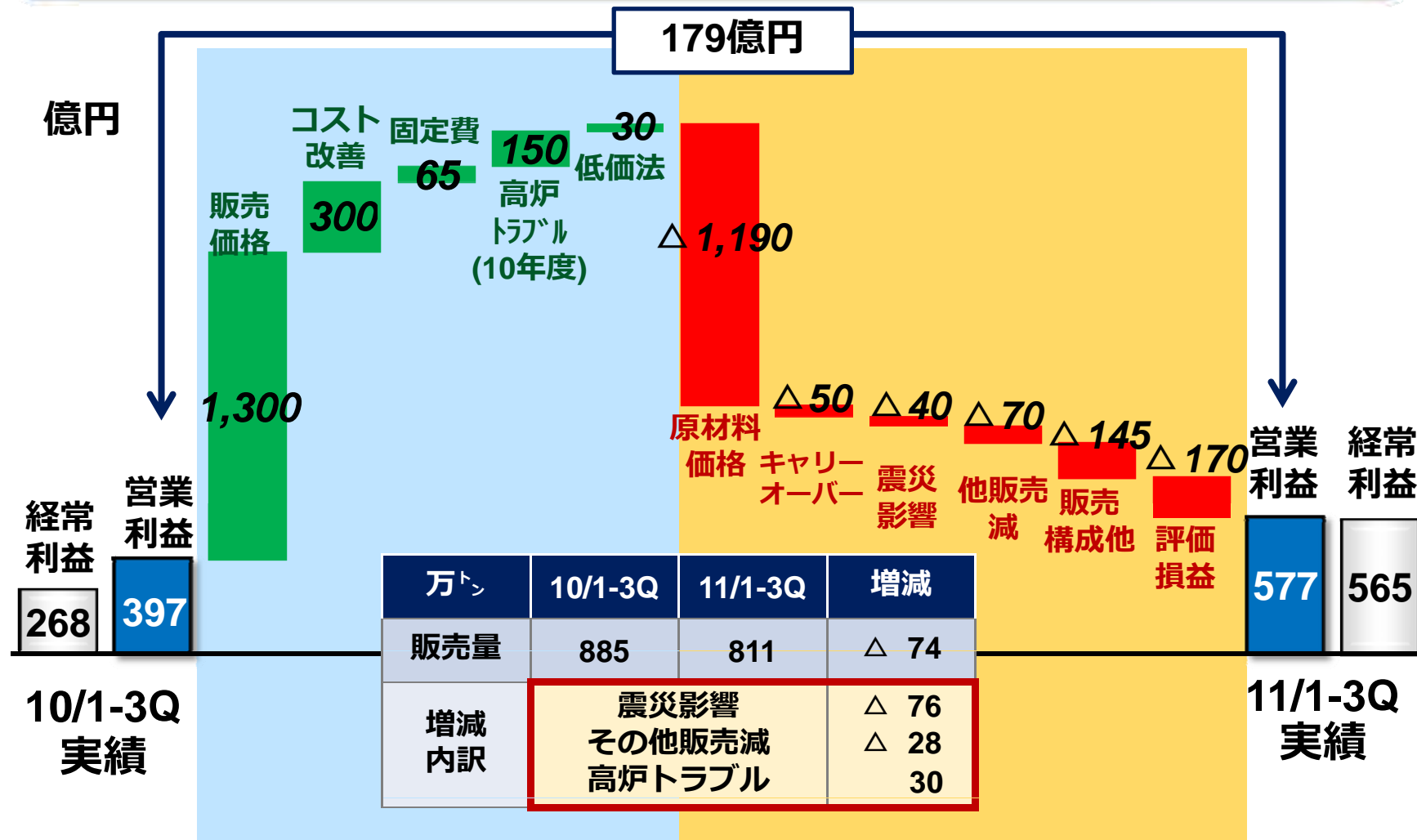
汎用品減産と価格下落影響およびキャリーオーバー影響を主体に
△80億円の減益



●持分法損益 <11/2Q> 32億円 → <11/3Q> 30億円

営業利益増減 (10/1-3Q→11/1-3Q)

原材料コスト上昇や、震災影響による販売数量減はあったが、価格改善とコスト改善等によりカバーし、179億円の増益



●持分法損益 <10/1-3Q> 33億円 → <11/1-3Q> 110億円

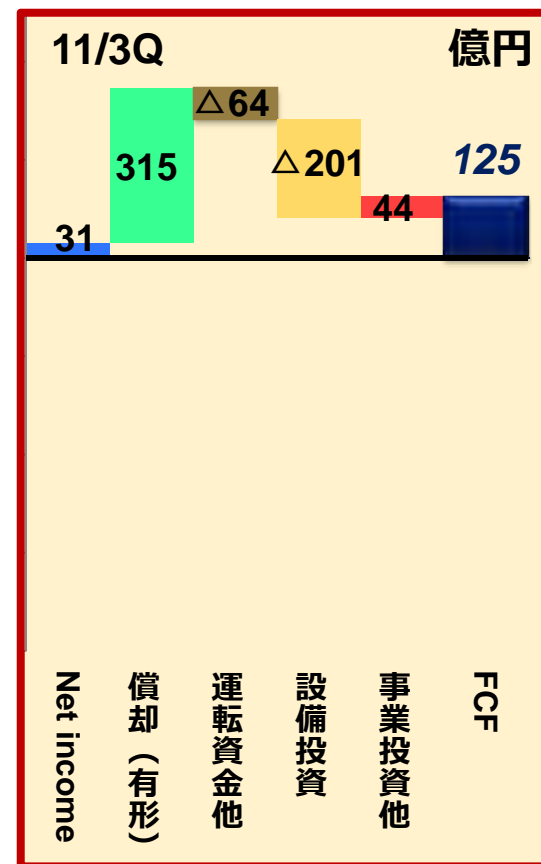
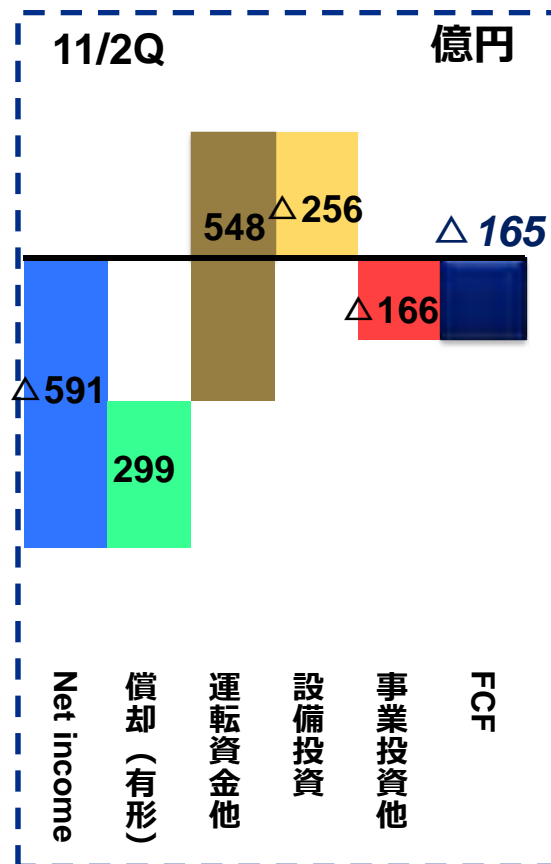
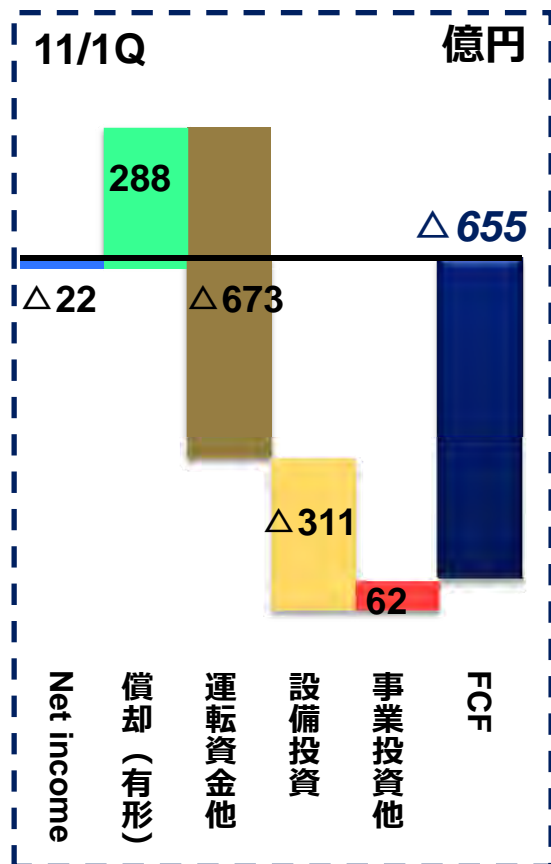
11/12E BS概況

9

億円	10	11				%	11/3E 増減
	12E	3E	6E	9E	12E		
【資産】							
流動資産	6,189	6,479	6,328	6,935	7,075	9.2	596
固定資産	17,936	17,928	17,915	17,651	17,387	△3.0	△541
資産合計	24,126	24,407	24,244	24,586	24,462	0.2	55
【負債および純資産】							
流動負債	6,995	8,006	7,931	8,304	7,830	△2.2	△175
固定負債	8,492	8,220	8,136	8,261	8,993	9.4	773
純資産	8,637	8,180	8,176	8,021	7,638	△6.6	△542
借入残高	11,111	11,733	11,974	12,072	12,042	2.6	309
D/Eレシオ	1.37	1.53	1.56	1.61	1.69		0.16

キャッシュフローの状況

Net income: 税前当期利益+法人税等支払額



	10/12E	11/3E	11/6E	11/9E	11/12E
D/Eレシオ	1.37	1.53	1.56	1.61	1.69
借入金	11,111 億円	11,733 億円	11,974 億円	12,072 億円	12,042 億円
現預金	197 億円	825 億円	334 億円	192 億円	164 億円
ネット借入金	10,913 億円	10,908 億円	11,640 億円	11,879 億円	11,878 億円

11年度見通し

11年度 販売量等の見通し

※住金小倉、住金直江津、住金鋼鉄和歌山を含む
 ※見通しは全て概数

12

販売数量は、市況低迷による汎用品減産影響等により前回見通し対比△25万トンの
 シームレスパイプ販売は101万トンの見通し

	10年度		11年度見通し				10/31 見通し	11年度 見通し	年度 増減	
	4Q		1Q	2Q	3Q	4Q 見通し				
為替レート (円/\$)	82	86	82	78	77	80	[80]	79	7円高	
粗鋼生産量 (万トン)	313	1,290	277	334	325	338	[1,300]	1,274	△16	
鋼材販売量 (万トン)	287	1,172	224	288	299	327	[1,163]	1,138	△34	
シームレスパイプ 販売量(万トン)	26	96	23	25	26	28	[101]	101	5	
鋼材 平均単価 (千円/トン)	国内	104.7	101.5	113.2	113.6	108.2	106	[111]	110	8
	輸出	90.6	86.3	96.6	99.5	96.4	92	[97]	96	10
	平均	97.9	94.2	104.5	107.3	103.1	100	[105]	103	9
ドル バランス (億ドル)	受取		52	29		35		[65]	64	12
	支払		△52	△32		△38		[△71]	△70	△18
	合計		0	上期	△3	下期 見通し	△3	[△6]	△6	△6

11年度 業績見通し概況

タイ洪水影響、キャリーオーバー等の一時要因に加え、汎用品販売環境の悪化もあり、営業利益は△200億円、持分法会社(株)SUMCO損益の損益後退もあり経常利益は△450億円の下方修正

※見通しは全て概数

億円	10年度	上期	下期見通し		下期見通し	〔10/31見通し〕	11年度見通し	年度増減	10/31見通しとの増減
			3Q	4Q見通し					
売上高	14,024	6,922	3,836	4,060	7,900	[15,200]	14,800	775	△400
営業利益	563	412	164	135	300	[900]	700	136	△200
経常利益	340	413	151	△10	140	[1,000]	550	209	△450
特別損益	△620	△940	△88	△110	△200	[△940]	△1,140	△519	△200
当期純利益	△71	△323	△52	△180	△230	[0]	△550	△478	△550
EPS(円)	△1.54	△6.99	△1.14	△3.88	△4.96	[0.00]	△11.87	10.33	△11.87
EBITDA	1,825	1,000	480	470	950	[2,150]	1,950	125	△200
借入残高	11,733	12,072	12,042	11,900	11,900	[12,100]	11,900	△166	△200
D/Eレシオ	1.53	1.61	1.69	1.71	1.71	[1.61]	1.71	0.18	0.10

特別損失内訳等

1. 特別損失見通しの内訳

※見通しは全て概数

億円	10年度		11年度見通し				
	4Q	10年度	1Q	2Q	3Q	4Q見通し	
災害による損失	△620	△620	△123	-	-	*2 △30	△153
投資有価証券売却損	-	-	△19	-	-	-	△19
投資有価証券評価損	-	-	-	△797	*1 △88	-	△886
固定資産減損損失等	-	-	-	-	-	△80	△80
特別損失	△620	△620	△143	△797	△88	△110	△1,140

*1：株式市場低迷影響

*2：震災損失の追加引当（設備投資減少で資金需要は変更無し）

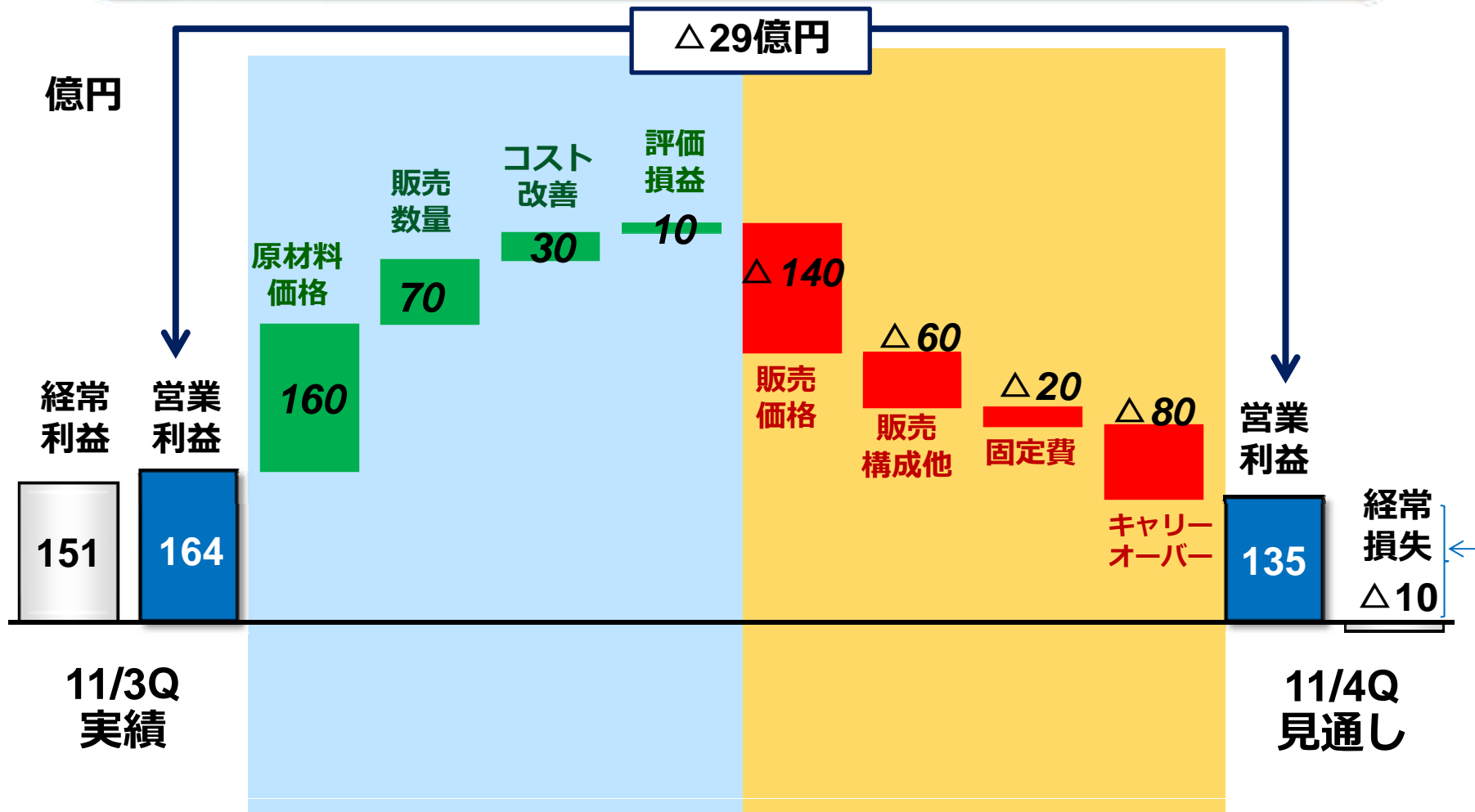
2. 持分法損益中の(株)SUMCO損益の影響

億円	11年度 前回見通し	11年度 今回見通し	増減
(株)SUMCO当期損益見通し	25	△850	△875
当社持分法損益への影響	7	△236	△243
当社持分法損益合計	190	△55	△245

経常損失	△60
特別損失	△500
税金費用等	△290

営業利益増減 (11/3Q→11/4Q見通し)

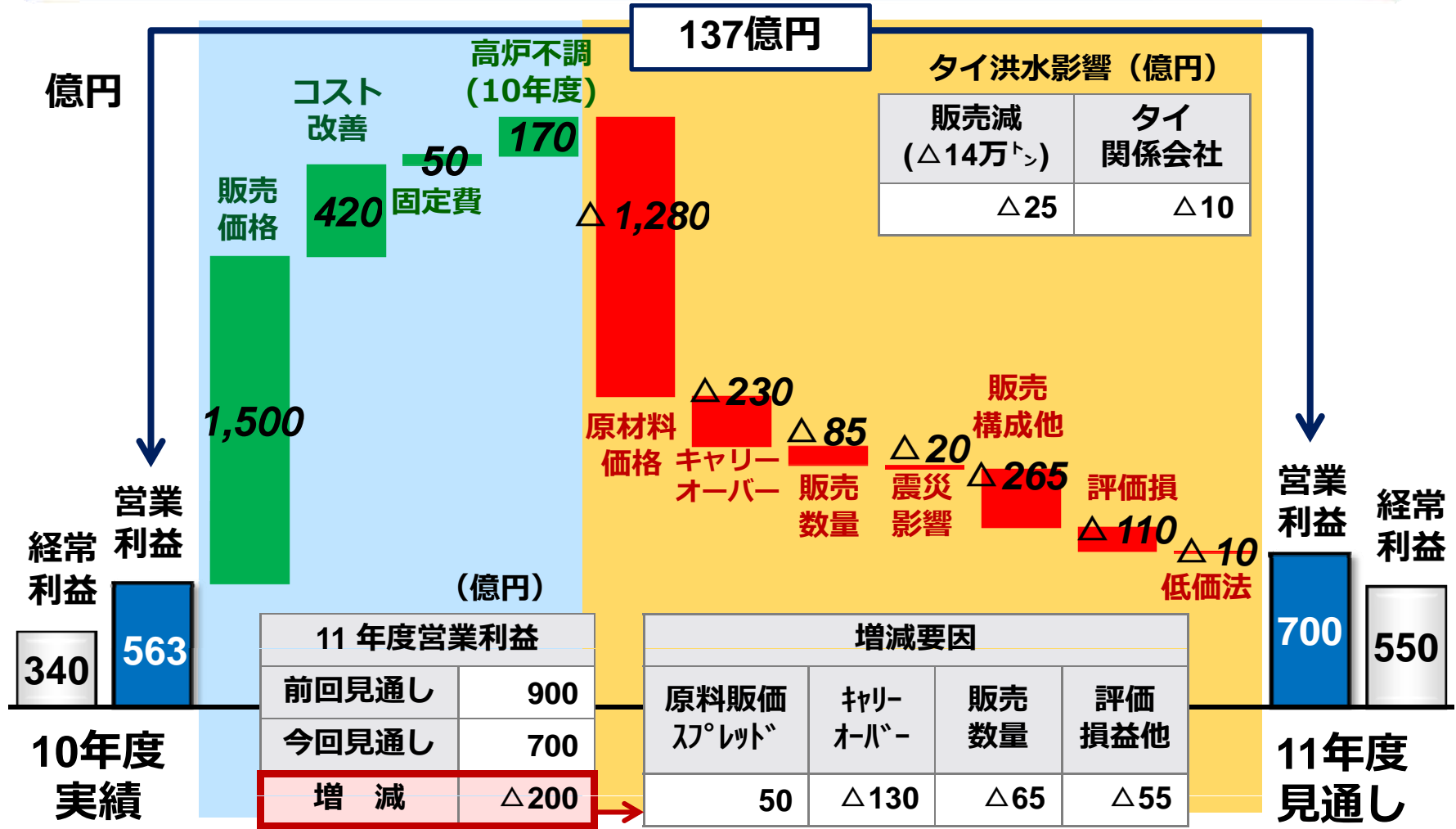
原材料価格低下や販売数量増の好転要因はあるが、原材料キャリーオーバー影響が大きく▲30億円程度の減益見通し



●持分法損益 <11/3Q> 30億円 → <11/4Q見通し> △ 165億円

営業利益増減 (10年度→11年度見通し)

シームレスパイプの価格改善等により、原材料価格高騰等をカバー
コスト改善強化もあり140億円程度の増益見込み



●持分法損益 <10年度> △34億円 → <11年度見通し> △55億円

鋼材品種別販売状況

鋼板・建材

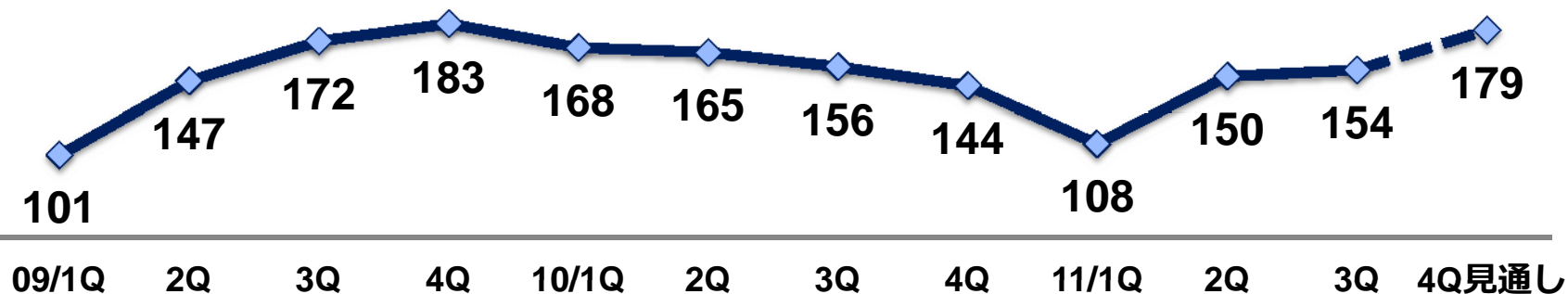
薄板：国内自動車向けは堅調だが、他の分野は減産。

タイ洪水影響は約▲11万ト。

厚板：汎用品の需給緩和は進行しているが、エネルギー向けハイエンド品は堅調

建材：震災復興需要が茨城地区で本格化

販売量(万ト)



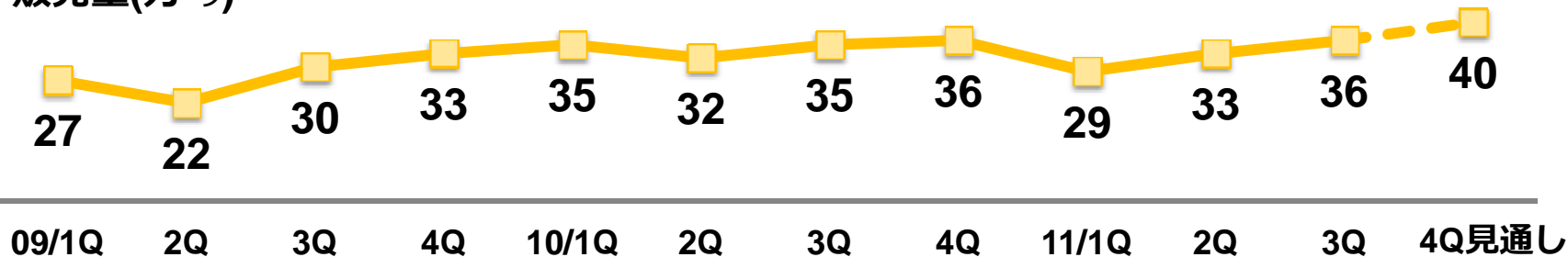
鋼管

シームレス：3QよりVSBからの製品出荷開始

大径管：中東地域での大型案件受注により下期販売は回復

(1Q:4万ト→2Q:5万ト→3Q:7万ト→4Q見通し:10万ト)

販売量(万ト)

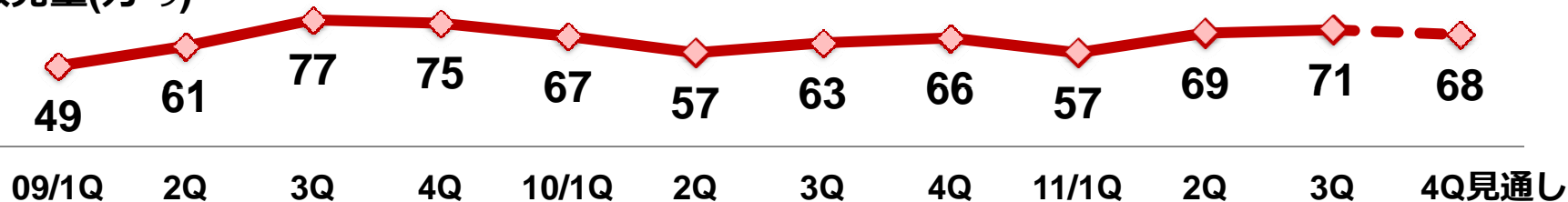


鋼材品種別販売状況

スラブ

上期は震災影響があったが下期は通常ベースの販売に復帰

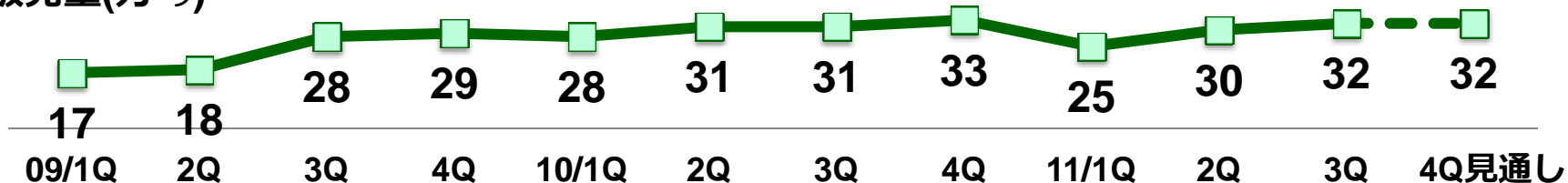
販売量(万ト)



特殊鋼

タイ洪水影響は約▲3万ト。自動車向けは堅調だが建機向けが減速

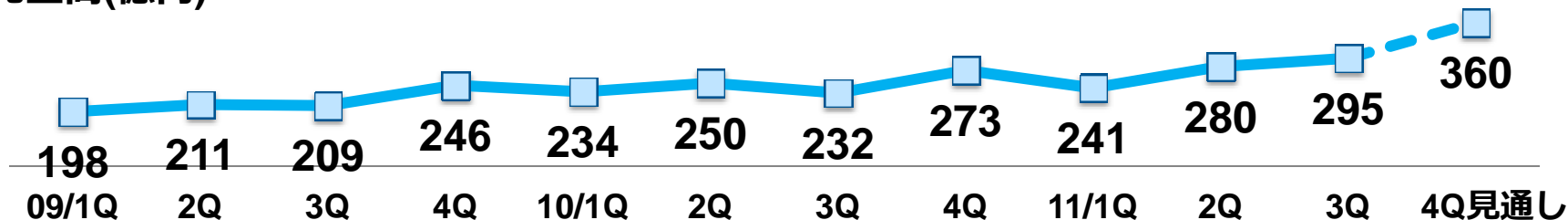
販売量(万ト)



交通産機品

鉄道車両品：内需に加え、米国・欧州・中国向けも堅調に推移
12月より米スタンダードスチール社を連結
クランクシャフト：タイ洪水影響により前回計画からは微減

カンパニー
売上高(億円)



シームレスパイプ需要・販売の状況

● OCTG / Line Pipe

- ➡ OCTG長期契約品：中東向け主体に堅調な販売が継続
- ➡ OCTG SPOT品: ハイエンド分野を含め、需要は旺盛。北米在庫も通常レベルを下回っており、価格は当面高位安定する見通し
- ➡ Line Pipe:プロジェクト向け・店売り向けとも需要は堅調

● 特殊管

- ➡ 原発向けは延期される案件があったが、好調な火力発電向けでカバー

● 自動車・建機向け

- ➡ 自動車向け主体に下期にかけて大幅回復。建機は国内向けは堅調だが、中国向けは減少

リグカウ ントの 状況	05年 平均	06年 平均	07年 平均	08年 平均	09年 平均	10年 平均	直近
米国	1,383	1,649	1,768	1,879	1,089	1,546	(12/1/27) 2,008
深井戸 (≥15,000ft)	199	225	222	283	249	249	(11/12) 405
北米・露・中 を除く世界	908	925	1,005	1,079	997	1,094	(11/12) 1,180

出所: Baker Hughes, Smith international

セグメント・カンパニー別売上高等の状況

セグメント・カンパニー別売上高

※見通しは全て概数

億円	10年度					4Q 見通し	〔10/31 見通し〕	11年度 見通し	年度 増減
		1Q	2Q	3Q					
鋼板・建材	5,496	1,043	1,494	1,475	1,620	[5,850]	5,600	104	
鋼管	5,067	1,223	1,415	1,436	1,420	[5,600]	5,500	433	
交通産機品	991	241	280	295	360	[1,150]	1,150	159	
棒線*	1,447	323	410	414	400	[1,600]	1,550	103	
ステンレスチタン他*	514	140	138	124	160	[600]	550	36	
鉄鋼セグメント計	13,516	2,972	3,738	3,748	3,960	[14,800]	14,400	884	
その他	508	96	114	88	100	[400]	400	-108	
売上高計	14,024	3,068	3,853	3,836	4,060	[15,200]	14,800	776	

(参考) 鉄鋼セグメント主要カンパニー営業利益 (概数)

鋼板・建材	160	20	90	40	50	[360]	200	40	
鋼管	鋼管	160	70	85	90	45	[270]	290	130
	スラブ	△50	20	△25	△60	△55	[△70]	△120	-70
棒線*	60	0	20	30	30	[100]	80	20	

鉄鋼セグメント計	502	164	227	157	135	[870]	670	168
その他	62	4	16	6	0	[30]	30	-32
営業利益計	563	168	244	164	135	[900]	700	137

* 棒線: 棒鋼・線材カンパニー、11/3Qまでは旧住友金属小倉(株)のデータを掲載しております。

* ステンレスチタン他: ステンレス・チタン事業本部及びその他の鉄鋼部門、11/3Qまでは旧住友金属直江津(株)及びその他の鉄鋼部門のデータを掲載しております。

利益配分に関する基本方針

- 「質」と「規模」のバランスの取れた持続的成長を通じて企業価値を最大化
- 事業が生み出すキャッシュは、企業価値を高める投資に充当
- 投資戦略は以下を基準に実施し、その成果を株主の皆様に還元
 - ➡ 差別化の加速に資する投資であること
 - ➡ 資本コストを上回る便益をあげて企業価値向上に貢献すること
- 配当は安定配当を基本とする

財務体質運営指針

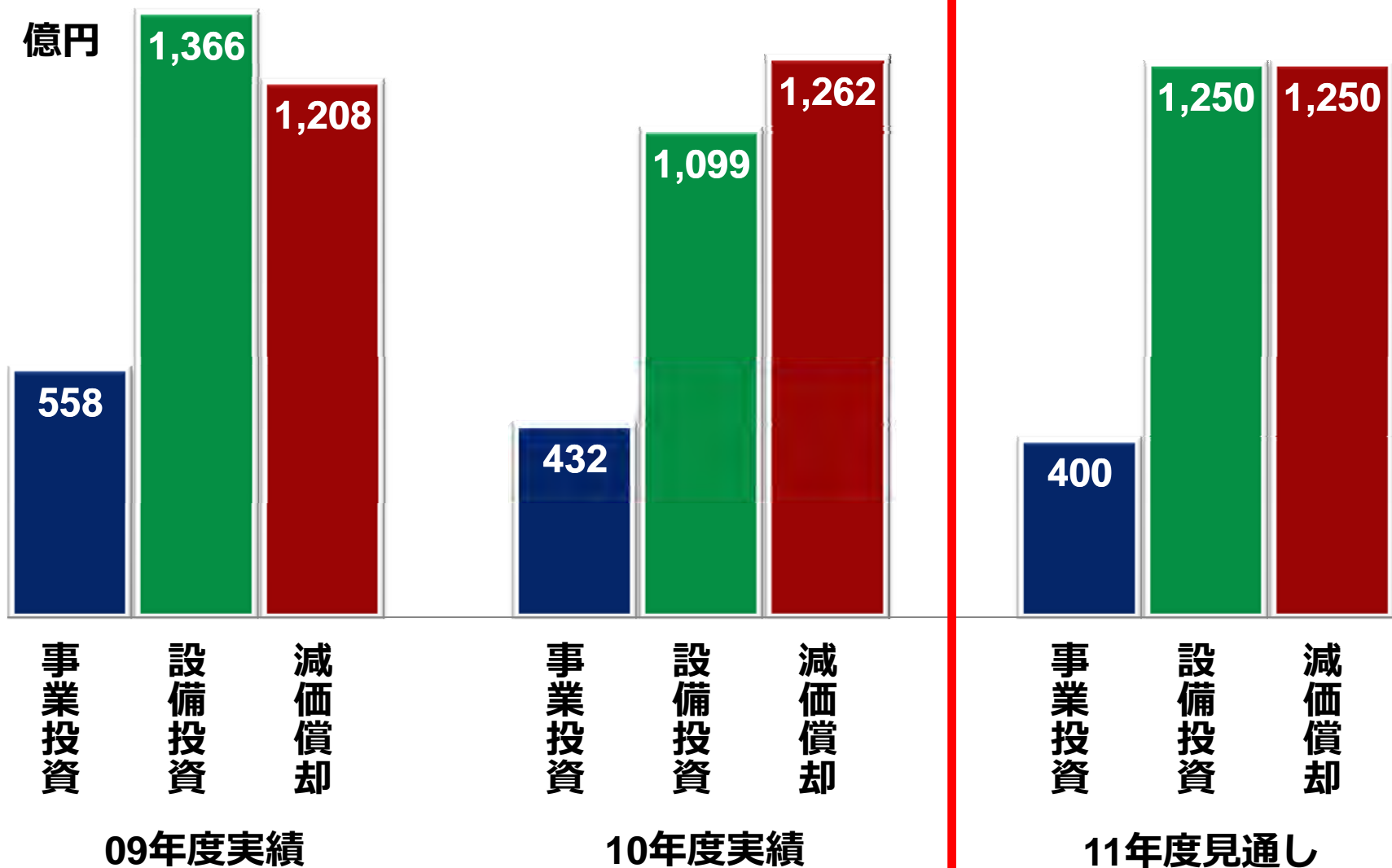
- D/Eレシオで 1.0未満を目標として運営

当期（12/3月期）配当予想

- 2.0円/株（中間配当 1.0円/株, 期末配当 1.0円/株）
- 下期収益動向に鑑み、期末配当予想を修正

事業投資・設備投資・減価償却費の見通し

設備投資額は工事ベース
事業投資額は支払いベース
減価償却費は有形固定資産のみ



主要設備投資・事業投資の進捗

稼動予定年月で記載		投資額	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15
設備投資								
鋼管	和歌山上工程更新 新第2高炉+CC増強等	1,150 億円						
	超高強度ラインパイプ増産	100 億円		11/1				
	原子力発電用SG管増産	140 億円				13/4		
その他	住金小倉製鋼プロセス革新	270 億円		10/10				
	総合技術研究所リニューアル機能強化	100 億円				12/5		
事業投資 (*JVの場合の投資額はJV合計額 []は当社出資額)								
鋼板建材	ベトナム薄板JV (CSVC)	*1,150 億円					13年	
	インドブーシャン社 オリッサ PJ " 西ベンガル PJ	技術援助 FS中						
	タイ カナドイル厚板ミル	[42億円]					13年	
鋼管	ブラジル高炉一貫 シームレス製鉄所(VSB)	4.7billion BRL (VSB 資本金)						
交通産機	インドクランクシャフト合併 (SMAC)	*10 億円		● 10/4				
	米国スタンダードスチール買収	325million\$					● 11/6	

参考資料

● 公正取引委員会からの統合承認（2011年12月14日）

＜参考＞ 問題解消措置の概要

1. 無方向性電磁鋼板

当社の国内商権(販売)を5年間、住友商事株式会社殿に移管し、同社へ新会社から製品を供給。

2. 高圧ガス導管エンジニアリング業務

新規参入者からの要請があった場合、新会社からUO鋼管や自動溶接機を販売。

注：両社の合併計画に関する審査結果の詳細については、公取委のホームページをご参照下さい。
(公取委ホームページ：<http://www.jftc.go.jp/pressrelease/11.december/11121403.pdf>)

● 今後のスケジュール

4月（予定）	合併契約の締結
6月（予定）	両社定時株主総会にて合併契約のご承認
10月1日（予定）	合併（統合）の効力発生日

(株)SUMCOによる優先株式引受け要請に対する方針について ²⁶

- (株)SUMCOが「事業再生計画」遂行し、需要低迷期においても収益を確保できる強固な収益基盤を確立することが、株主価値の回復、向上に資すると判断
- 同社が発行する予定の優先株式150億円の引受を検討開始
- (株)SUMCOによる優先株式発行の概要

(目的)	優先株式の発行により、財務体質の安定化を図る
(増資方式)	第三者割当増資
(株式の種類)	優先株式
(発行額)	最大450億円
(割当予定先)	三菱マテリアル株式会社、当社、他
(発行条件)	今後協議の上決定

- **今後のスケジュール (予定)**

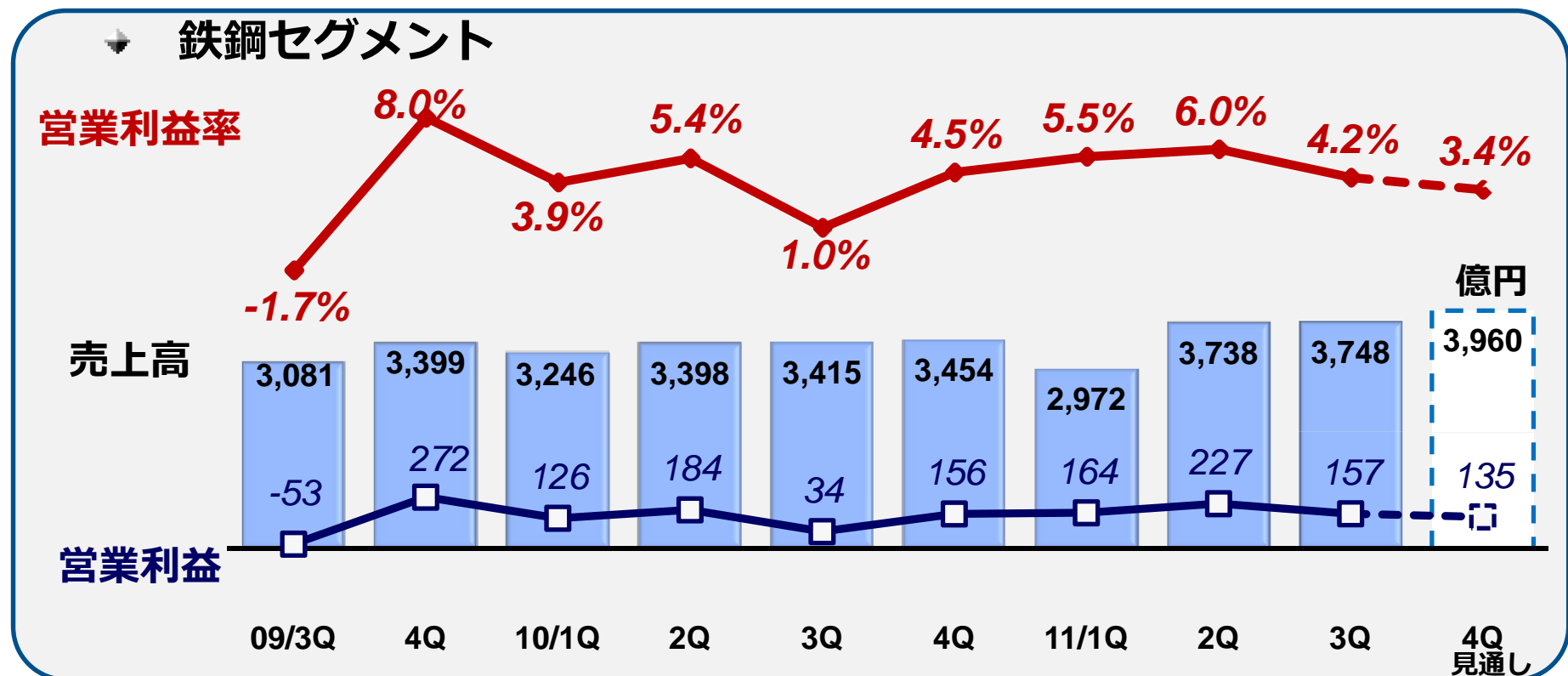
2012年3月上旬：本優先株式発行の条件決定、最終契約締結

// 5月上旬：本優先株式払込

セグメント別売上高・営業利益 四半期別推移

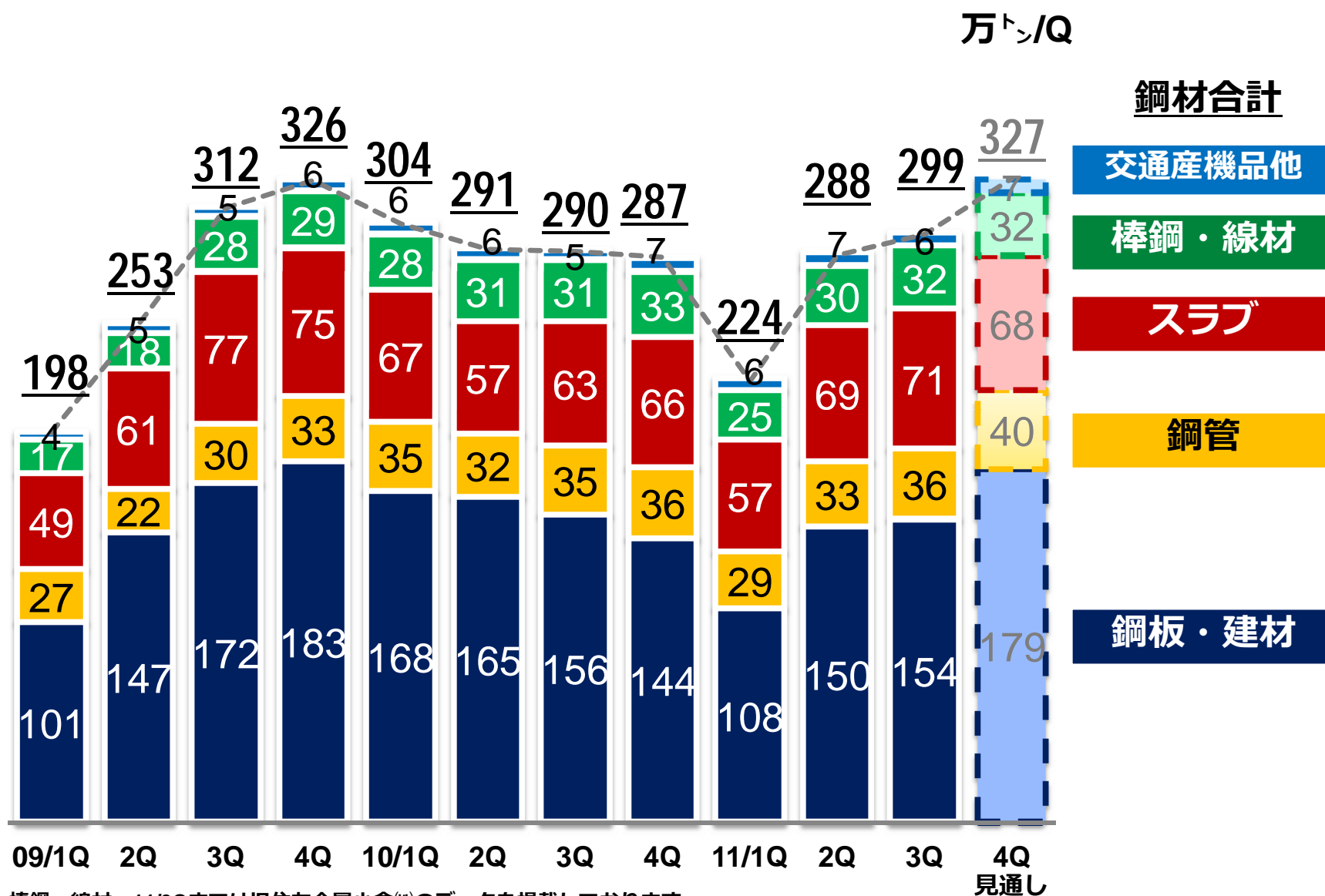
※見通しは全て概数

億円	09/3Q	4Q	10/1Q	2Q	3Q	4Q	11/1Q	2Q	3Q	4Q 見通し
鉄鋼	3,081	3,399	3,246	3,398	3,415	3,454	2,972	3,738	3,748	3,960
その他	178	211	169	122	104	112	96	114	88	100
売上高	3,260	3,610	3,416	3,521	3,519	3,566	3,068	3,853	3,836	4,060
鉄鋼	-53	272	126	184	34	156	164	227	157	135
その他	22	29	16	20	15	8	4	16	6	0
営業利益	-31	302	142	204	49	165	168	244	164	135



鋼材品種別販売量推移

※見通しは全て概数



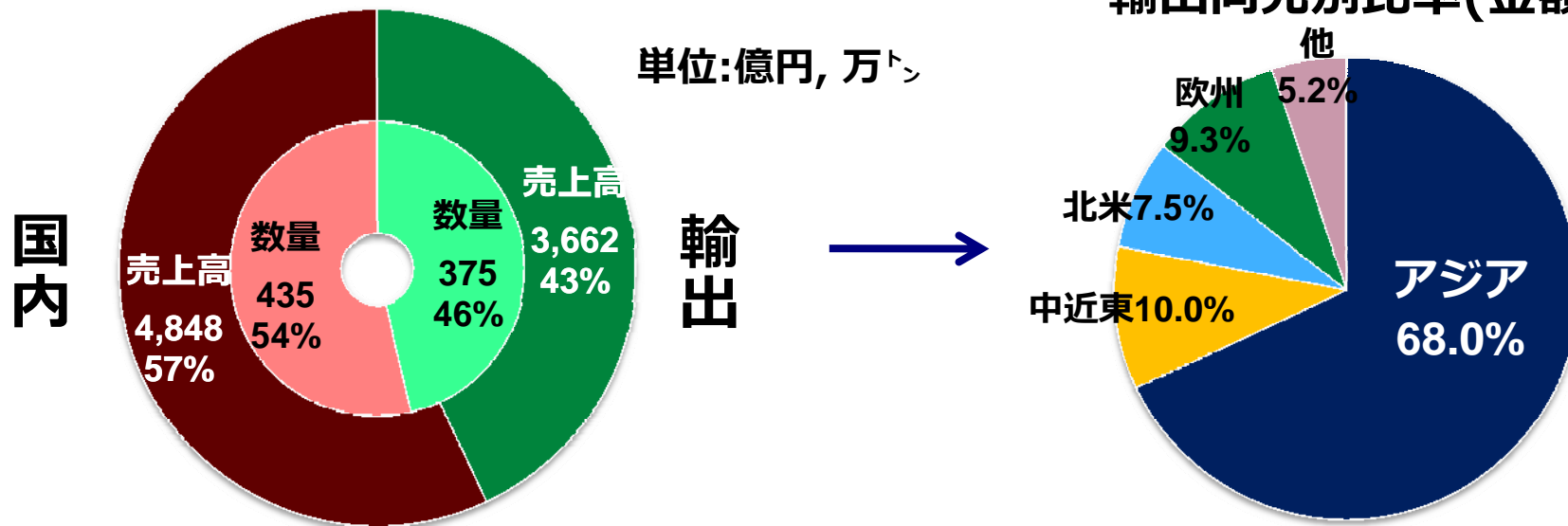
* 棒鋼・線材：11/3Qまでは旧住友金属小倉(株)のデータを掲載しております。

キャリアオーバー等の影響額

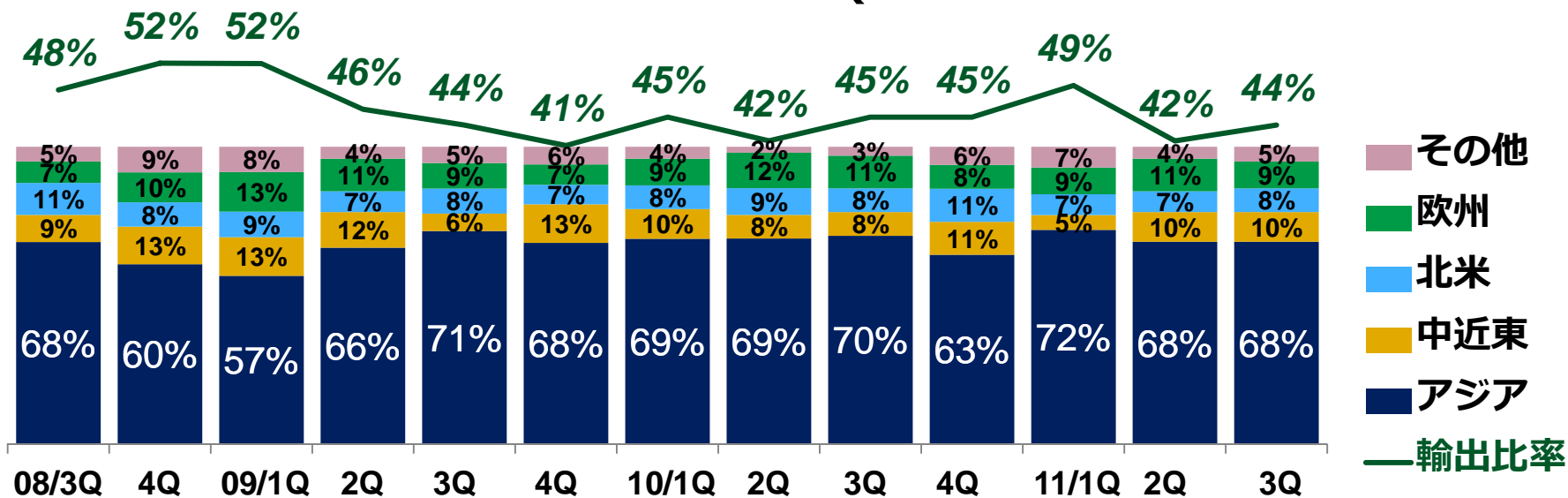
億円	10年度							11年度 見通し	年度 増減
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q 見通し	下期 見通し		
キャリア オーバー	250	180	0	180	△40	△120	<△30> △160	<150> 20	<△100> △230
評価損益		240	20		0	10			
原価差額 調整計算		△170	0		0	0			
評価損益計	210	70	20	90	0	10	<40> 10	<130> 100	<△80> △110
期首戻し		30	0		20	20			
期末適用		△10	△20		△20	△20			
棚卸簿価 (低価法)	10	20	△20	0	0	0	<0> 0	<0> 0	<△10> △10

*全て10億円単位概数 <> は10/31見通し

11/1-3Q 鋼材 国内・輸出別売上高 輸出向先別比率(金額)



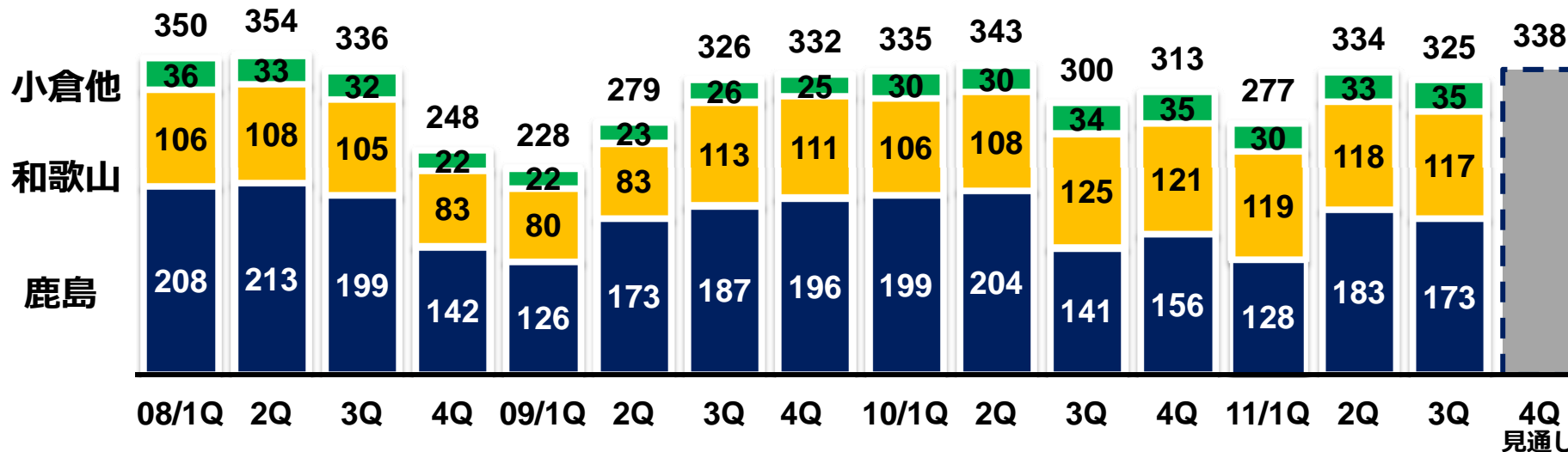
鋼材輸出向先別比率(金額) の推移



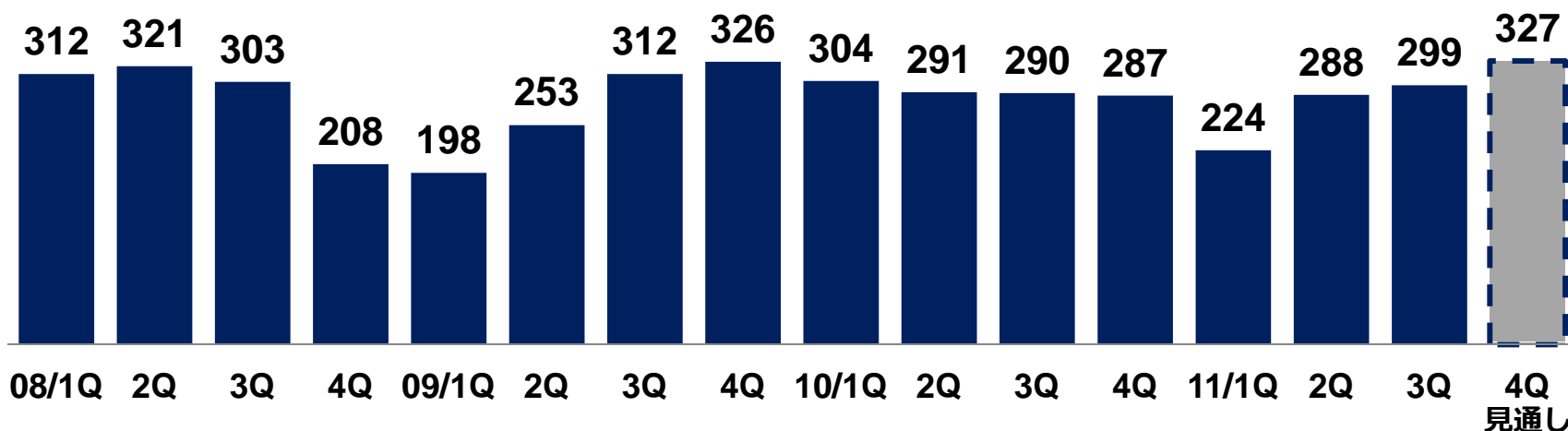
参考数値 (1)

※見通しは全て概数

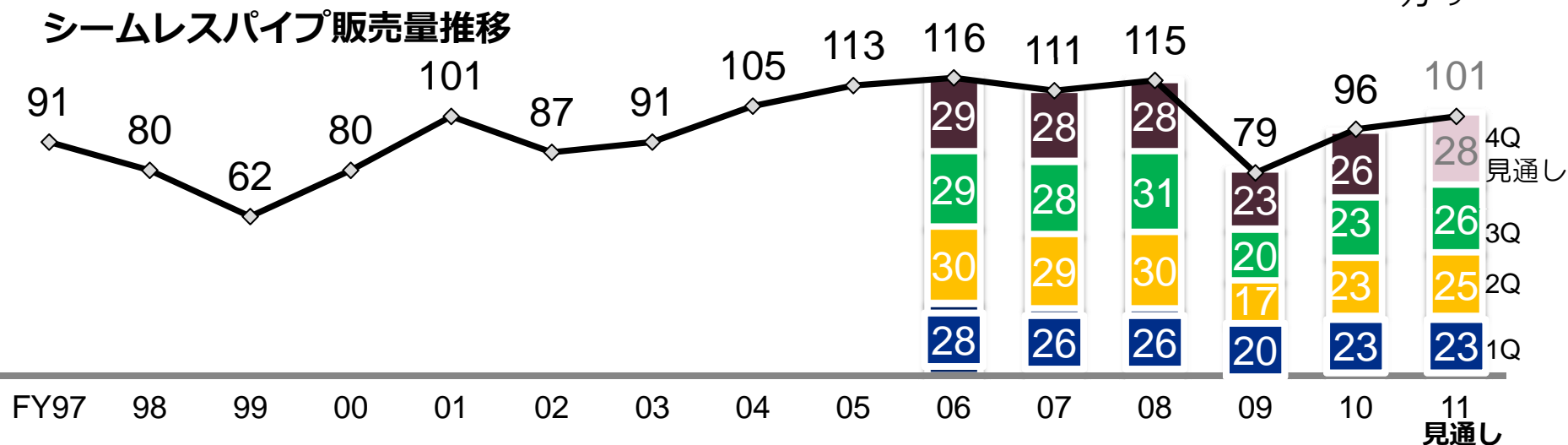
当社粗鋼生産量 万ト/q



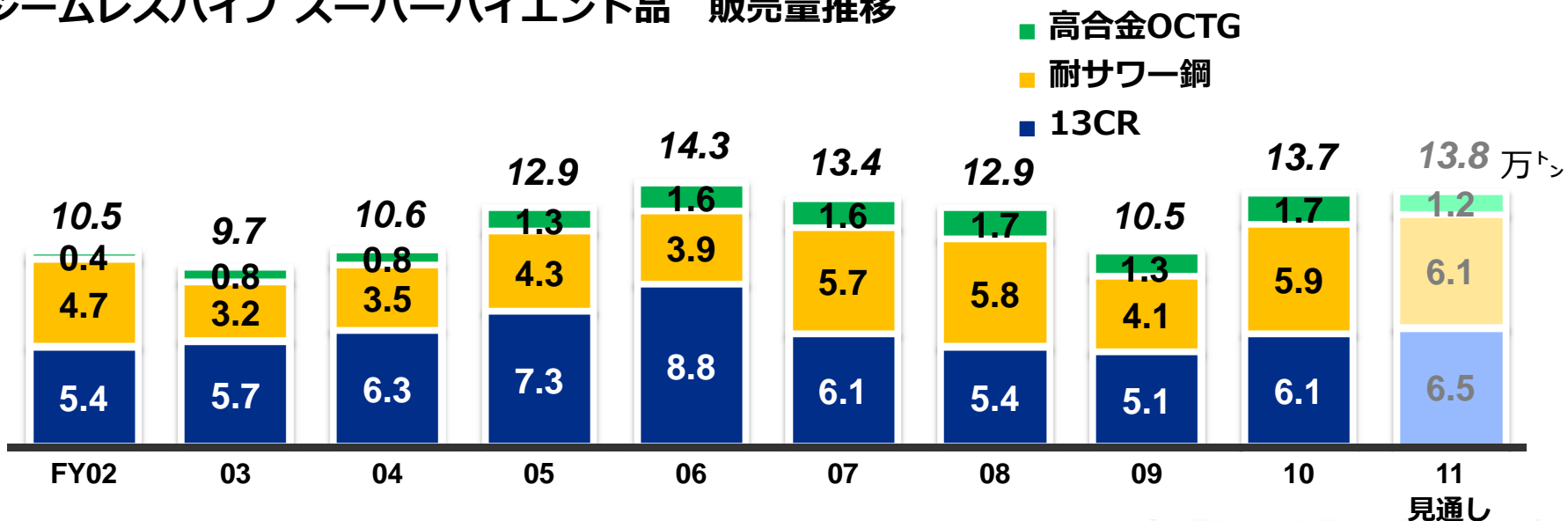
当社鋼材販売量 万ト/q



参考数値 (2)

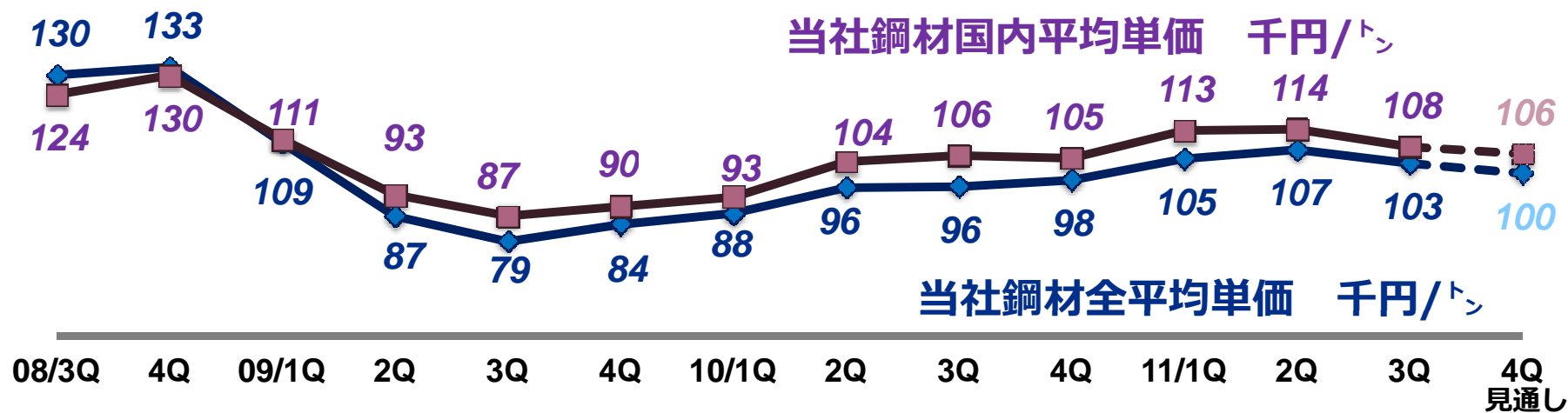


シームレスパイプ スーパーハイエンド品 販売量推移

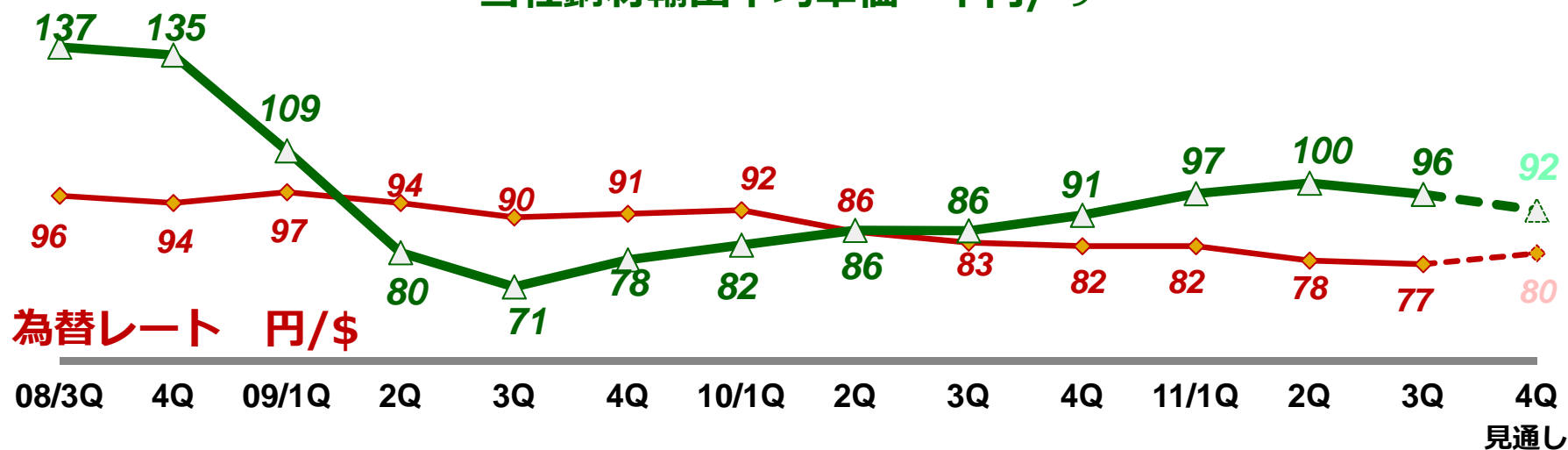


参考数値 (3)

※見通しは全て概数



当社鋼材輸出平均単価 千円/トン

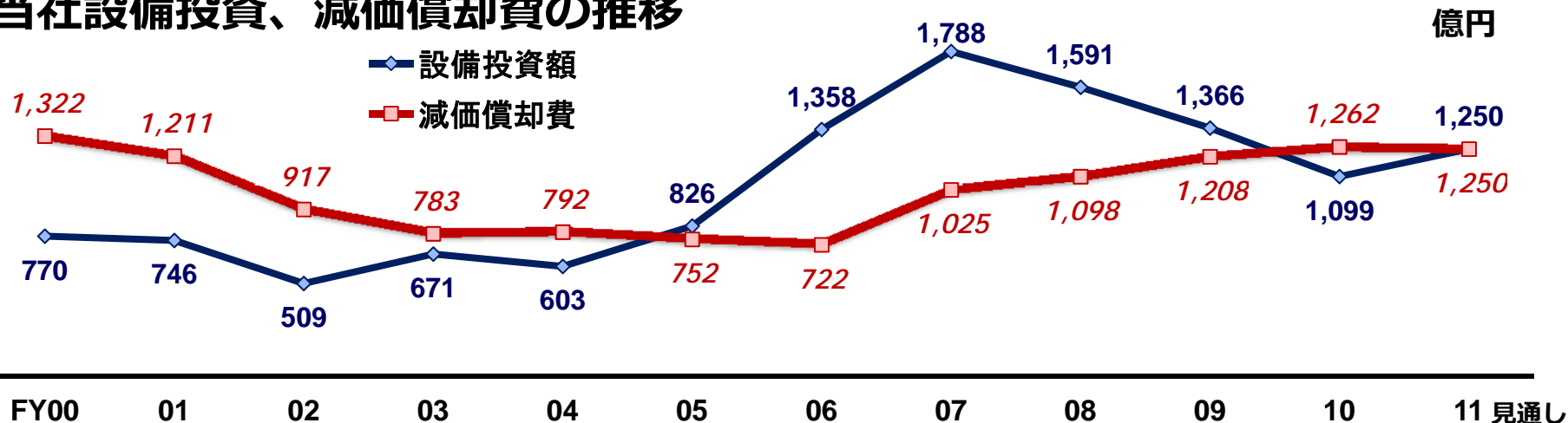


参考数値 (4)

※見通しは全て概数

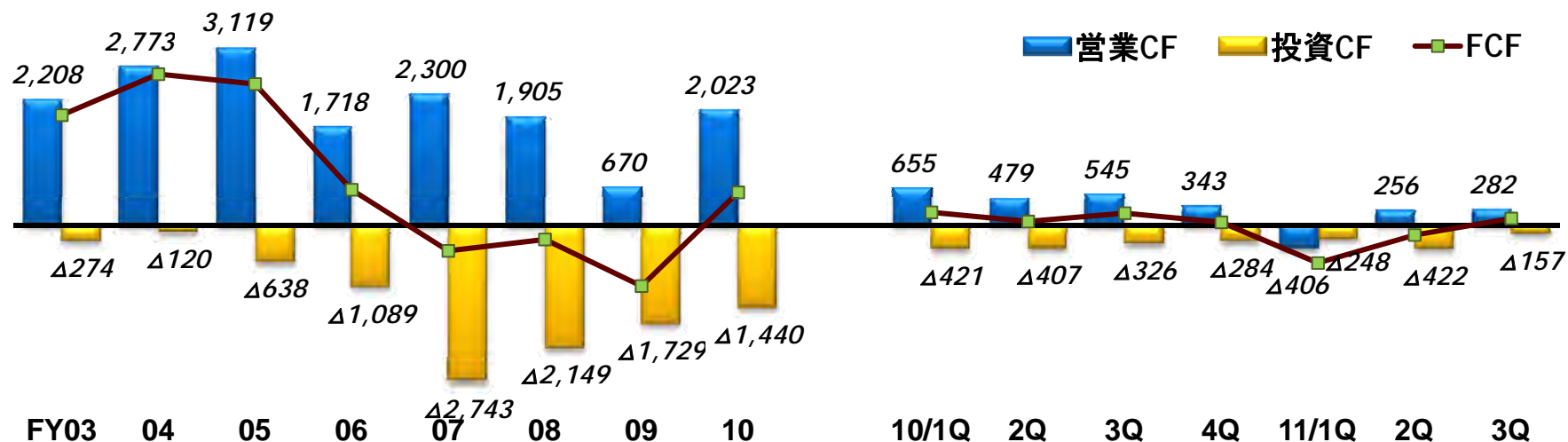
※設備投資は工事ベース 減価償却費は有形固定資産のみ

当社設備投資、減価償却費の推移



フリーキャッシュフローの推移

1,934	2,653	2,480	628	Δ442	Δ243	Δ1,059	583	233	72	218	58	Δ655	Δ165	125	億円
-------	-------	-------	-----	------	------	--------	-----	-----	----	-----	----	------	------	-----	----



「質重視」による企業価値の
持続的向上を目指す



ステークホルダーの皆様から
信頼される会社へ